

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日	記入者	神保 敏規	連絡先	042.684.3211	
平成18年度部名	教育総務部	課名	相模湖教育課	課長名	深澤 和則	
平成19年度部名	教育環境部	課名	相模湖教育課	課長名	深澤 和則	
事務事業名	学校体育施設等開放事業					
予算上の事務事業名	学校体育施設等開放経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					
施策名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市立小学校及び中学校体育施設使用料条例、同条例施行規則						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
管内5小中学校の体育館を支障のない範囲で開放し、市民の健康増進・交流の場作りとして提供し、もって社会教育の振興に資することを目的としている。				市民及び任意団体		
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。						
開放校数	小学校3校、中学校2校					
登録状況	小学校 24団体 547人 中学校 11団体 159人					
利用状況	小学校 1,270回 25,284人 中学校 484回 6,756人					
開放時間	学校の休業日以外の日 午後6時 (中学校は午後7時) から午後10時 学校の休業日 午前9時 (中学校は午後6時) から午後10時					
使用料	0円～400円 (利用時間帯及び減免の有無により変動)					
使用目的	バドミントン、バレーボール、卓球、ダンス など					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
近隣他市においても同様の事業が実施されている。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	186	200	200	
一般財源	0	0	(160)	(150)	(150)	
受益者負担金	0	0	346	350	350	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	79	79	79	
事業コスト合計	0	0	265	279	279	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	学校体育施設等開放事業			対象名称 と単位	利用者数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	265	279	279	
対 象 数	0	0	32,040	34,000	34,000	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	8	8	8	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.99	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	学校体育施設利用者数（人）	指標式と指標の説明	利用者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	32,040.0		
目標	0.0	0.0	34,000.0	34,000.0	34,000.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	94.2		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	利用者一人当たりの単価（円）	指標式と指標の説明	学校体育施設開放経費／年間利用者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	8.3		
目標	0.0	0.0	7.8	7.8	7.8
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	94.2		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		屋内スポーツの交流を通じ、体力の維持、健康の増進等に十分寄与している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 利用団体者会議等の活用により、多くの団体が利用できるよう調整を図る。			1 5 課題として認識されたこと 利用団体の増加により、特定の曜日に希望が集中し、十分に利用できない団体が多くなっている。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			